

羽村市版事業仕分け「公開型事務事業外部評価」 議事録

実施日	平成 23 年 11 月 13 日（日曜日）
会 場	市役所 4 階会議室（第 1 会場）
事業名	5 産業福祉センターの管理運営事業
出席者 （敬称略）	【評価員コーディネーター】進邦 徹夫 【評価員】石川 美紀、小山 行和、関塚 久夫、橋本 芳明、海東 聖
担当部署	産業環境部 産業活性化推進室
質疑応答	<p>（説明者）※配布資料に基づき説明</p> <p>（評価員）この施設の東京都からの使用貸借契約は、平成 32 年度までとのことだが、利用に対する制限はあるのか。</p> <p>（説明者）使用制限については、資料の 101 ページにある羽村市産業福祉センター条例第 4 条及び第 6 条を参照されたい。また、土地は東京都から無償で借用しており、その条件として勤労福祉会館用地として使用することとなっている。産業福祉センターの利用については、市内の産業に関わる人の活動を支援していくなど、条例の基準に沿っていれば随時使用を許可している。</p> <p>（評価員）施設使用料の中に第一会議室がないが、第一会議室は無料ということなのか。</p> <p>（説明者）第一会議室は貸出用の会議室ではなく、企業の情報などを紹介する場所として活用しているため、使用料の設定はしていない。</p> <p>（評価員）先日、図書館と産業福祉センターを見学した。図書館の学習室は多くの人が入っていたが、産業福祉センターはあまり人がいなかった。これは、例えば若い人が学習するため産業福祉センターに来館することを制限しているなどの結果なのか。</p> <p>（説明者）特にそのような制限はしていない。若い人も高齢者も自由に入りし、使用していただいてもよい。</p> <p>（評価員）その場合、図書館に 1 枚、産業福祉センターでも学習できる旨の案内ポスターを掲示すればよいのではないか。図書館では机に座れない人もいるくらい多くの方がおり、手書きでもよいので、1 枚、案内ポスターを貼れば多くの方が産業福祉センターも利用するのではないか。</p> <p>（説明者）第一会議室はハローワークなどの展示室として使用することがあるが、それ以外であれば可能であると思うので、調整していきたい。</p> <p>（評価員）ゆとりぎや図書館と比較して利用者が少ないのは施設として、もったいないと思う。もっと使用できることを宣伝するべきである。</p> <p>（説明者）施設として産業振興のために利用することが基本となることから、先ほど説明したように企業情報の展示に使用する場合もあるが、使用していないときは有効利用を図るべきなので、現場の状況をよく確認し、</p>

多くの人が利用できるような方法を考えていきたい。

(評価員) 評価シートの進行管理の結果で、「ほぼ計画どおり進行し、目標を達成できた」とあるが、「ほぼ」とは何が足りなかったのか。

(説明者) 評価シートの課題にあるように、セミナールームが活用しきれなかったことと、東日本大震災に伴い一時的に施設の使用を停止したことなどから「ほぼ」という評価とした。

(評価員) インターネットで予約状況などをみると、IPパスワードが必要と出てくるが、施設を使用しているダンスクラブや花道クラブの方はそのコードを知っているということか。

(説明者) はじめに、ご利用いただく団体を審査し、条件に合えばIPパスワードを発行している。それらの団体は自宅等のパソコンにより予約が行える。

(評価員) 評価シートの今後の課題の欄の②に、サーバーのリース期間が平成23年度で終了するとあるが、ゆとろぎのシステムと統合するなどはないのか。実施することはできないのか。

(説明者) システムなので、理論的にはできると思うが、ゆとろぎの利用形態などよく確認し検討していきたい。

(評価員) 利用者の立場からすると、空き状況や予約等の確認ができればどこからでもよいということになると思うので、できればひとつの画面から産業福祉センターの予約等もできるようになれば便利だし、利用も増えると思うので検討してもらいたい。

(評価員) ゆとろぎと図書館は同時期に建設されており新しいため、必然的に利用者数が多くなるのではないか。そのため、インターネットの予約システムも含め、施設紹介するときは、産業福祉センターも含め、一体的にPRしていった方がよいと思う。

(評価員) 利用者についてだが、ゆとろぎと産業福祉センターでは、利用形態が違うような気がするがいかがか。

(説明者) 施設が産業振興のために利用されることを目的としていることから、利用者の形態が違ってきていると考えられる。1階のサロンや第一会議室はフリースペースとなっており、ゆとろぎのフリースペースと同様に利用することができる。また、事前に確認していただき窓口で申請すれば、その他の会議室等も有料で使用できるので、PRを工夫していきたい。

(評価員) 例えば、和室を利用している団体はどのような団体か。

(説明者) 花道、茶道、将棋等の団体である。

(評価員) そのような利用ができることをゆとろぎを利用している人にも知らせてあげれば利用率が上がると思う。ゆとろぎを使用する人の中には産業福祉センター内に和室があり、花道や茶道で使用するための水周りも整備されていることを知らない人もいると思う。

(説明者) 他の会議室と同様に空き状況を事前に確認してもらえれば、使

用は可能であるので、PRに努めていきたい。なお、老朽化が進んでおり市民等が利用する際に支障がないよう、空調設備などのメンテナンスに努めている状況である。

(評価員) 空調設備で4機のうち3機が故障しているようだが、支障はないのか。予約サーバーのリース契約は本年度で終了だが、次のリース契約等の予定はあるのか。また、会議室のサブタイトルに「電腦」と付くが、現代では少し古いのではないか。

(説明者) 空調設備については、必要最小限の範囲で運用している。サーバーについては現在の契約を延長し平成24年度も継続していく予定である。「電腦」のネーミングについては、平成13年度に愛称として付けたが、当時はパソコンが普及しだしたときであり、市民にPRする意味も込めていたもので、現在のパソコンの普及状況からみると当初の目的は達成されていると考えられる。今後は産業振興施策と合わせ、どの様な位置付けにより運営していくか検討していく中でネーミングも考えていきたい。

(評価員) 勤労福祉会館としての利用を基本的に考えるのであれば、女性の社会進出を支援していく面から、男性の育児教室などを開催することは考えられないか。

(説明者) 就職セミナーや企業紹介などの事業を行うなかで、検討していくこととしたい。

(評価員) 市内にいくつも企業があると思うが、各企業からの技術を商工会の人に紹介する場として活用することもできるのではないか。

(説明者) 産業活性化推進室でもそのような事業を実施しており、終業後の午後6時から8時までセミナー等を行っている。今後もより充実していきたい。

(評価員) 東京都との契約が10年残っているが、その間民間へ運営委託することはできるのか。また、考えているのか。

(説明者) 以前、商工会へ委託していたが、行財政改革の一環により直営となっている。現在は、職員が様々な工夫を行い、産業振興の充実に取り組んでいる。

(評価員) 10年経過すれば、産業振興に限定しない利用ができるようになるのか。

(説明者) あくまで、無償で借用できる期間が終了するという事なので、その後の利用方法等については特に決まっていない。

(評価員) 2階の第3会議室は十分に広いため、パソコンを撤去すれば会議室として利用する人は多いと思うがいかがか。

(説明者) それも課題としており、産業振興施策の中で利用方法などを検討していきたい。

(評価員) 2階のホールの利用状況はどのようになっているのか。

(説明者) 平成22年度は56%の稼働率となっている。この施設の中では

	<p>一番稼働率が高い部屋となっている。</p> <p>(評価員) 空調設備が故障しているとのことであるが、夏など支障なく運営しているのか。</p> <p>(説明者) 配管を工夫し、1機で全館の空調をまかなっている。</p> <p>(評価員) 修理代が4,900万円とあるが、これは空調設備を全て取り替えたときの金額か。</p> <p>(説明者) そのとおりである。産業福祉センターの設備一式を更新した場合の金額である。</p>
<p>判 定</p>	<p>【評価結果：③】</p> <p>〔6人〕③：市が実施・改善が必要（ア：事業内容を見直すべきである。）</p> <p>【主な意見】</p> <p>(1)利用率を高めるためのPRをすべきである。</p> <p>(2)パソコン室もあまり活用されていないようなので、学習室として貸してはどうか。</p> <p>(3)利用の範囲を緩和・拡大し、利用しやすい施設にすべきである。</p> <p>(4)産業福祉センターとゆとろぎの利用予約システムを統合できないか。</p> <p>(5)民間委託運営は考えられないか。</p> <p>(6)子ども達も使えるように開放してほしい。</p>